

全国団地景観サミット2010

UR賃貸住宅「団地景観フォト&スケッチコンテスト」

代表団地作品集

団地 人のふれあい・彩りのある風景



例えば、1本のシンボルツリーに、

時には、それぞれの窓から見える風景に、住まう人の想いを映しながら

豊かなコミュニティが、UR賃貸住宅という空間に育まれていきます。

写真を撮り、スケッチを描く…。瞬間を切り取るための試みは、また

団地そのものの、そしてそこに暮らす人の歴史を

写すことなのかもしれません。

ごあいさつ

UR賃貸住宅の団地は、日本全国に1700団地以上あります。その立地や規模、建設年代は様々ですが、それぞれの団地が、緑豊かな住環境や、団地を舞台にいきいきとした生活シーンなど、独自の魅力ある景観を育んでいます。

全国の美しい「団地景観」が一堂に会することを「サミット」になぞらえた「全国団地景観サミット」は、2008年の第1回開催から、今年で第3回目を迎えることができました。2010年は、団地にある人と人とのふれあいが感じられること、団地の彩りのある風景が感じられることをテーマとして、《UR賃貸住宅 団地景観フォト&スケッチコンテスト》を開催いたしました。

今年も全国から、団地を舞台としたあたたかいふれあいのワンシーンや、お気に入りの建物や緑景観など、団地への想いに溢れた作品とメッセージを多数お寄せいただきました。多くの皆様からの作品応募による「全国団地景観サミット」へのご参加に、心より御礼申し上げます。

皆様から愛される住環境として、また地域の資産として、団地の持つ環境や景観をこれからも守り育ててまいります。

目次

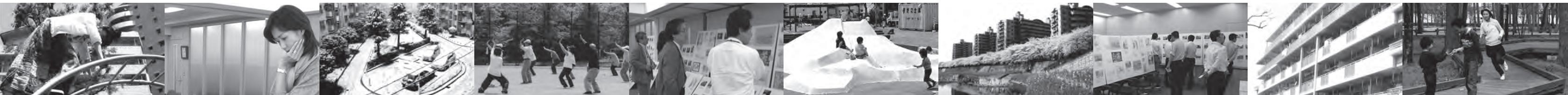
ごあいさつ	02		
目次	03		
全国団地景観サミットの意義と代表団地について	06		
サミット2010代表団地一覧	08		
入賞作品	18		
フォトコンテスト	フォト大賞	20	
スケッチコンテスト	スケッチ大賞	22	
フォトコンテスト	団地×コミュニティ部門	最優秀賞・優秀賞	26
フォトコンテスト	団地×ランドスケープ部門	最優秀賞・優秀賞	30
スケッチコンテスト		優秀賞	34
特別賞	● 審査員賞	38	
	● キッズ賞	40	
	● UR賞	42	
	● メッセージ賞	46	
	● カレンダー賞	52	
	● 入選	56	
審査の現場から / 審査員プロフィール	58		
全国団地景観サミット2010「団地景観フォト&スケッチコンテスト」の概要	64		

● 入選者および有識者審査員の敬称は省略させていただいております。 ● 入選作品の紹介内容は原則下記の順で掲載しております。
作品タイトル/氏名/撮影団地(都道府県)/メッセージ ● 代表団地一覧は応募作品をトリミング加工の上、掲載しております。

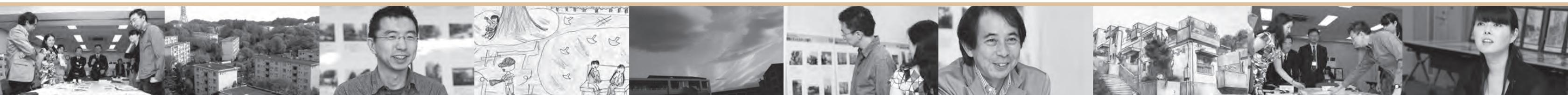
2008年



2009年



2010年



一つひとつの作品と心を通わせ、作者の想いに視線を重ねる…
時を超え、心に刻まれる風景がここにあります。

2008年から始まった「全国団地景観サミット」に寄せられたさまざまな作品と、そこに添えられたメッセージ…。
応募者それぞれの想いは、団地という空間と、そこに流れる時間が紡ぎ出す物語へと、見る人を誘います。

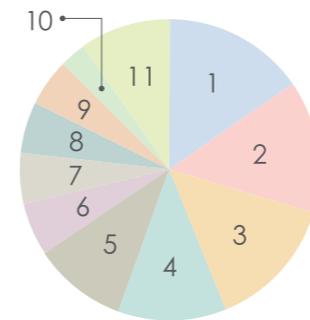


全国団地景観サミットの意義と代表団地について

「全国団地景観サミット」は、日本全国に1700以上あるUR都市機構の賃貸住宅の団地それぞれがもつ景観について、その団地の代表者として作品をご応募いただく想定のもとに、全国から寄せられる団地景観の応募作品を通じて、サミットにご参加いただいています。また、このイベントは、審査を行い入選作品を決定するという過程を踏んではいますが、多くの団地の景観やコミュニティを題材にした作品が、一同に介することを大事にしています。私どもにとっては、それぞれの団地を題材にした作品が、居住者のみならず、地域の方々の手により、このサミットに集まってくることが貴重な財産となります。

全国団地景観サミット2010の代表団地作品集をまとめるにあたり、このような開催の意義を多くの皆さんに理解していただくため、昨年に引き続き、北海道から九州までの全国の団地からご応募いただいた代表団地をご紹介します。小さなスペースではありますが、改めてそれぞれの団地の代表となる作品を見ていただくことで、地域らしさや個々の団地固有の魅力に触れていただきたいと思います。また、今年は、今まで応募が無かった多数の団地から新たにご参加いただきました。次回、全国団地景観サミット2011においても、さらに多くの団地からの作品が集ってくることを願っています。

[応募作品の構成要素] 被写体の分析



被写体	割合
1 まち並み・団地景観	16.6%
2 人の活動	15.0%
3 建物	13.8%
4 花・花壇等	11.4%
5 広場・公園	9.8%
6 遊具・アウトドアファニチャー	5.5%
7 水辺	5.4%
8 並木	5.4%
9 林・緑の塊	5.0%
10 シンボルツリー	2.5%
11 その他	9.6%

[応募が多かった団地]

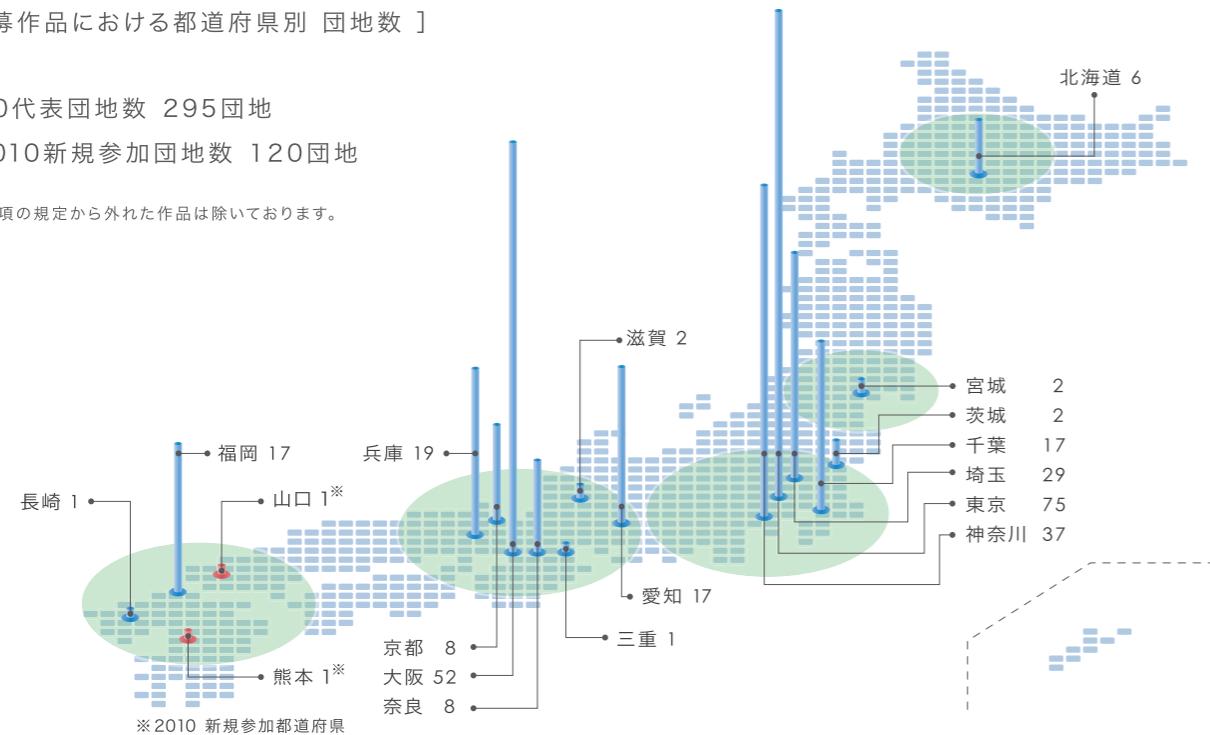
団地名	所在地
1 シーリアお台場一番街	東京都
2 赤羽台・ヌーヴェル赤羽台	東京都
3 多摩平の森	東京都
4 プロムナード矢部	神奈川県
5 神代	東京都
6 平城第二	奈良県
7 新千里東町	大阪府
8 豊四季台	千葉県
9 豊島五丁目	東京都
10 アルビス緑丘	大阪府

[応募作品における都道府県別 団地数]

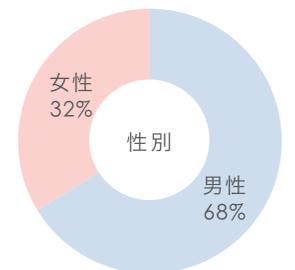
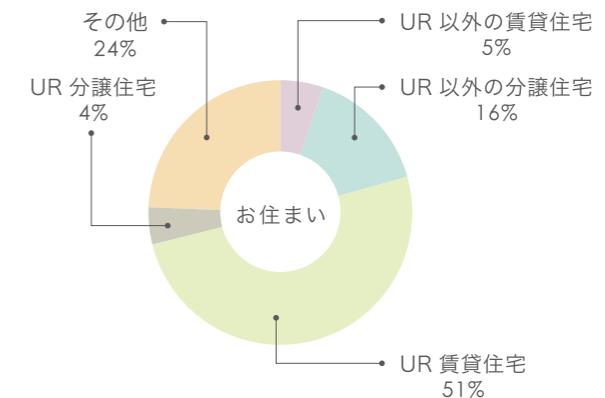
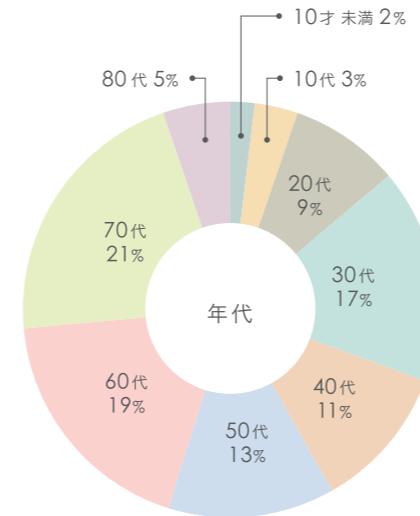
2010代表団地数 295団地

内 2010新規参加団地数 120団地

応募要項の規定から外れた作品は除いております。



[応募者の属性]



全国団地景観サミット2010

代表団地一覧



	応募団地数	団地総数
北海道	6 団地	42 団地
宮城	2 団地	16 団地
茨城	2 団地	17 団地
千葉	17 団地	115 団地
埼玉	29 団地	154 団地

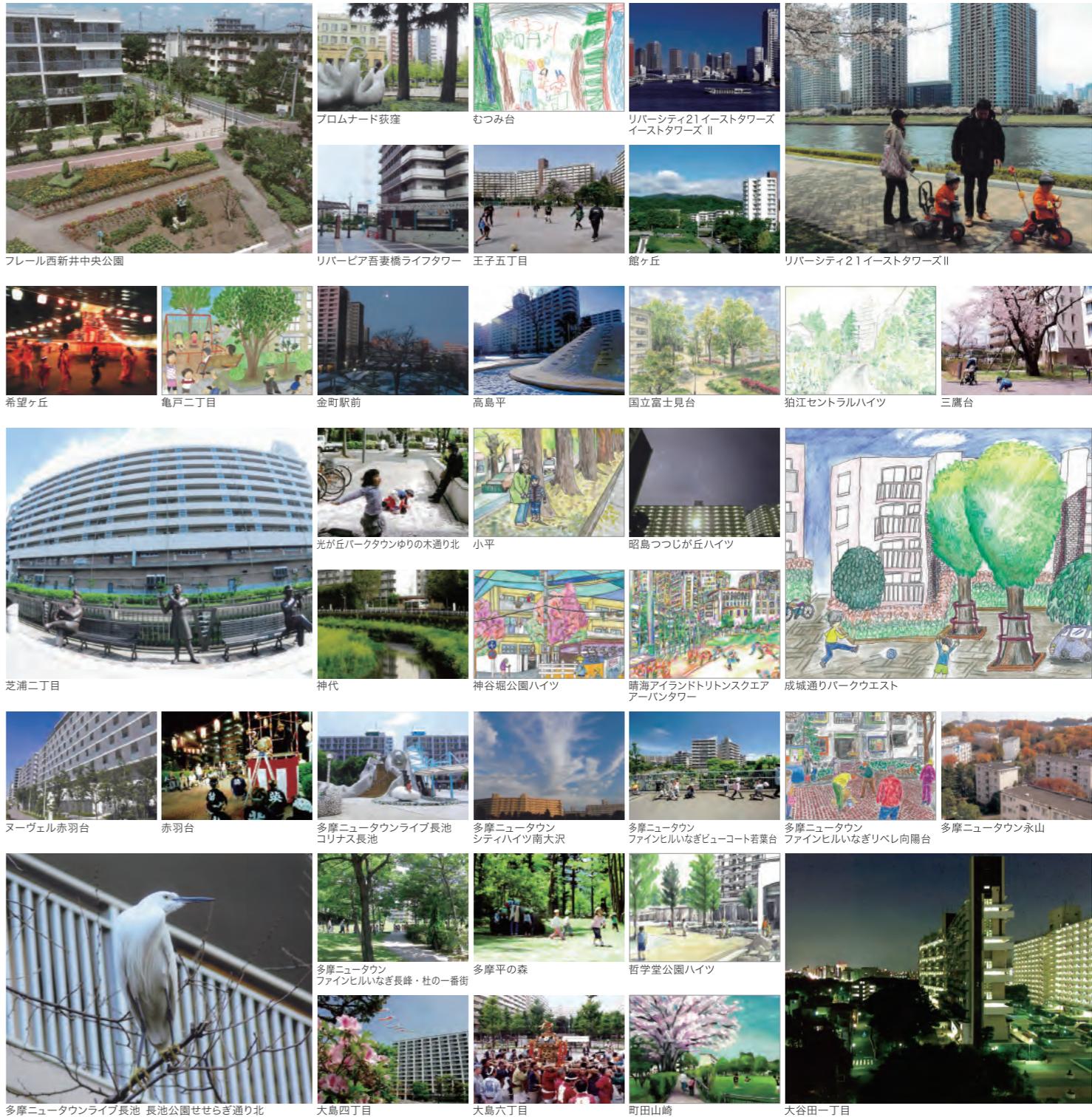
このエリアでは、計344団地中56団地から88作品の応募がありました。

各県における団地の総数は2010年6月時点のものです。





東京
アーバンライフ東新小岩 アクティ芦花公園
アクティ三軒茶屋 イーストコア曳舟二番館 イーストcommons 清澄白河セントラルタワー エステート大南公園
グリーンタウン美住一番街 グリーンヒルズ東久留米 グリーンヒル寺田 グリーンプラザひばりが丘南 けやき台
シーリアお台場三番街 立花一丁目 シーリアお台場一番街
セーラ小松川 サンヴァリエ桜堤 シティハイツ日野旭が丘 にしき平和台 清瀬旭が丘
ハートアイランド新田一番街 ひばりが丘パークヒルズ フレール西新井第一



フレール西新井中央公園 フロムナード荻窪 むつみ台 リバーシティ21イーストタワーズ イーストタワーズⅡ
リバーピア香妻橋ライフタワー 王子五丁目 館ヶ丘 リバーシティ21イーストタワーズⅡ
希望ヶ丘 亀戸二丁目 金町駅前 高島平 国立富士見台 狛江セントラルハイツ 三鷹台
芝浦二丁目 神代 神谷堀公園ハイツ 晴海アイランドトリンスクエア アーバンタワー 成城通りパークウエスト
ヌーヴェル赤羽台 赤羽台 多摩ニュータウンライブ長池 コリナス長池 多摩ニュータウン シティハイツ南大沢 多摩ニュータウン ファインヒルいなぎコート若葉台 多摩ニュータウン ファインヒルいなぎリベレ向陽台 多摩ニュータウン 永山
多摩ニュータウンライブ長池 長池公園せせらぎ通り北 大島四丁目 大島六丁目 町田山崎 大谷田一丁目



	応募団地数	団地総数
東京	75 団地	436 団地
神奈川	37 団地	211 団地

このエリアでは、計647団地中112団地から244作品の応募がありました。

各県における団地の総数は2010年6月時点のものです。



東雲キャナルコートCODAN 東久留米 南六郷二丁目 板橋ビュータワー 百草 品川シーサイドビュータワー 浮間三丁目エステート 府中グリーンハイツ



武蔵野緑町パークタウン 豊洲シエルタワー 豊洲四丁目 豊島五丁目



神奈川 アーベインピオ川崎 えびな オルトヨコハマビュータワー くぬぎ台 十日市場ヒルタウンコンフォール 十日市場ヒルタウンコンフォール十日市場



コンフォール上倉田 コンフォール小松ヶ丘 コンフォール藤沢 コンフォール南日吉 コンフォール明神台 サンヴァリエ日吉 ステラ月見ヶ丘 プラザシティ相模大野



ヨコハマポートサイドロア武蔵館 ビューコート小港 下大槻 橋本四丁目 海岸通



若葉町 金沢シーサイドタウン並木二丁目 港北ニュータウンコンフォールセンター南 左近山 金沢シーサイドタウン並木一丁目第一 コンフォールさがみ南 新山下ベイシティ 小杉御殿



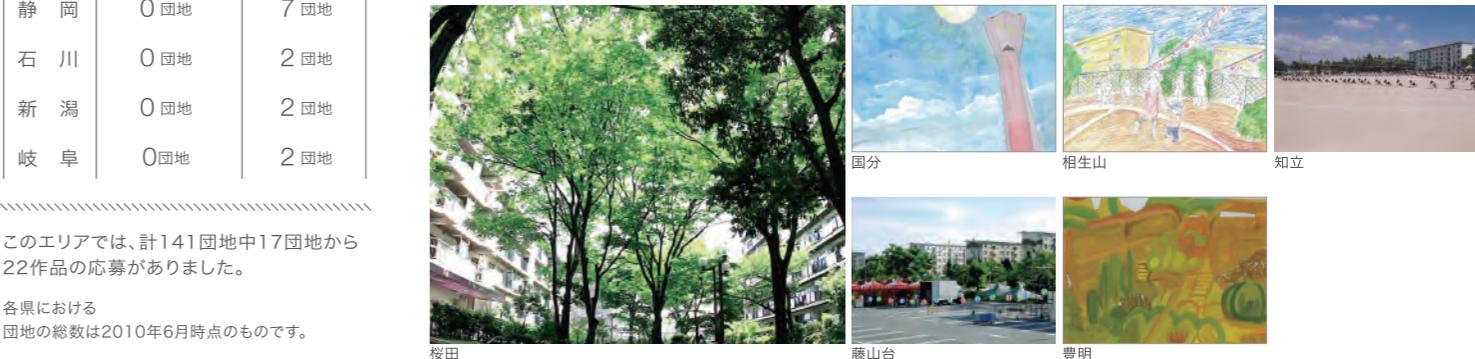
星が丘パークランドひよどり台 西菅田 善行 辻堂 奈良北 南神大寺 洋光台中央



愛知 アーバニア志賀公園 アーバンラフレ稲沢



アーバンラフレ志賀 アーバンラフレ虹ヶ丘中 アクアタウン納屋橋 アーバンラフレ鳴海 岩成台 岩倉 江南 高座台 高森台



桜田 国分 相生山 知立 藤山台 豊明

	応募団地数	団地総数
愛知	17 団地	128 団地
静岡	0 団地	7 団地
石川	0 団地	2 団地
新潟	0 団地	2 団地
岐阜	0 団地	2 団地

このエリアでは、計141団地中17団地から22作品の応募がありました。
各県における団地の総数は2010年6月時点のものです。



	応募団地数	団地総数
三重	1 団地	6 団地
滋賀	2 団地	4 団地
京都	8 団地	51 団地
大阪	52 団地	227 団地
兵庫	19 団地	125 団地
奈良	8 団地	24 団地
山口	1 団地	7 団地
和歌山	0 団地	3 団地
岡山	0 団地	1 団地
広島	0 団地	12 団地
香川	0 団地	1 団地
高知	0 団地	1 団地

このエリアでは、計462団地中91団地から151作品の応募がありました。

各県における団地の総数は2010年6月時点のものです。



サンヴァリエ春日丘 サンヴァリエ津久野 サンヴァリエ中百舌鳥



泉南尾崎 泉北鶴谷台三丁 泉北城山台二丁 総持寺 千里津雲台



南港ひかりの 伝法 東千里山 東豊中第二 富田



北緑丘 箕面粟生第一 H A T 神戸・灘の浜 H A T 神戸・脇の浜 あかしあ台ハイツ アルビス寺本



チャンネルタウンウエスト はずかけ台ハイツ第三 グリーンヒルズ東舞子 グリーンヒルズ六甲 芦屋浜



新多聞 新長田駅前 浜甲子園 浜甲子園さくら街 武庫川 名谷公園前 明石舞子



郡山駅前 真美ヶ丘6丁目 鶴舞 奈良学園前・鶴舞 奈良・紀寺 奈良青山一丁目



富雄 平城第二 周陽二丁目



	応募団地数	団地総数
福岡	17 団地	167 団地
長崎	1 団地	1 団地
熊本	1 団地	3 団地
宮崎	0 団地	2 団地
鹿児島	0 団地	4 団地

このエリアでは、計177団地中19団地から25作品の応募がありました。
各県における団地の総数は2010年6月時点のものです。



アーベインリビエ清水 アーベインルネス白銀 アーベイン香椎南 アーベイン桜の浜マリナステージ



もりつね パークタウン大手町 下大利 花鶴丘



香椎若葉 志徳 金山



若久 上西町 長住 徳力 日の里



西諫早 武蔵ヶ丘

入賞作品

「全国団地景観サミット2010」が、今年テーマとして掲げたのは、

「人のふれあい」、「彩りのある風景」。

応募者484人が、それぞれの視点で全686点の作品に描き出した

団地というコミュニティ、団地と周囲の景観が作り出す風景は、

新鮮な感動を与えてくれる個性に満ちています。

団地を舞台にしたコミュニティ行事や活動を対象とした「団地×コミュニティ」部門と、

団地空間の特徴ある景観を対象とした「団地×ランドスケープ」部門のフォトコンテスト。

上記2部門の内容を対象とした、スケッチコンテスト。

2つのコンテストによる作品募集を行いました。



フォト大賞

フォトコンテスト

ふるさと 佐藤 勝紀

平城第二（奈良県）

盆踊りの輪が広がる大きな惑星群から少し離れた暗闇にぼっかりと浮かんだ小宇宙の明かり。詩的な風情を感じさせる濃密な空間は毎年ここに現れる。いつもの顔ぶれがいるいつもの場所なのに、いつもとちがうように感じる。お祭りの本質が根付いているこの団地はふるさとの貫禄十分である。

審査員からのコメント

カメラのストロボ光に頼らず、小宇宙（縁日）の明かりのみに浮かんだ夏祭りの団地のパースペクティブが美しい。人々が自然に重なり、まさに「ふるさと」がここに生れている。ズームレンズの広角域で撮られたのだろうか、広がりを感じさせ、コミュニティの未来を明るく暗示させてくれる。〈大西みつぐ〉



スケッチ大賞

スケッチコンテスト

初夏の昼下り 小沢 節子

吉川（埼玉県）

母が逝ってから私の寂しさを二三分の所に娘家族が住んでいることがどれだけ癒してくれてるでせう。毎週水曜日はお昼を一緒にとってます。おしゃべりをしながら私の手料理を食べさせる楽しさ又娘が作ったものを食べる幸せ。ベランダで娘が出かけるところにぶつかる偶然にもままありました。行ってらっしゃい。理想的な生活環境。

審査員からのコメント

悲しいこともあったかもしれないが、それを家族や団地内の人とともに乗り越えた明るく幸せな生活が絵からも文からも感じられる。3代に渡る長い時間を包み込んできた団地。高齢化社会の中で、明るい一筋の光のような絵だと思う。〈なかだえり〉



最優秀賞 優秀賞

見たものを写し取るだけでなく、そこに確かに存在する想いを形にする。

作者のそんな試みは、また、作品を見る私たちに、新しい視点への気づきをもたらしてくれます。

団地に暮らす人々の笑顔を、積み重ねられてきた時間を、一枚の作品に描き出す。

そんな作者の感動を共有しながら、一つひとつの作品を見つめて欲しい。

そう私たちは考えています。

- フォトコンテスト 団地 × コミュニティ部門
- フォトコンテスト 団地 × ランドスケープ部門
- スケッチコンテスト



最優秀賞

フォトコンテスト 団地 × コミュニティ部門

団地の子供たち 浅井 誠章

辻堂（神奈川県）

夏休み、団地で遊んでいた子供たちをお願いして撮らせてもらった一枚。同じ団地の子たちという彼らは笑顔いっぱい！とても楽しく夏休みを過ごしているようでした。きっとこの夏もたくさんのいい思い出を団地の仲間たちとつくったことでしょう。この絆をずっと大事にしてほしいです。

審査員からのコメント

選者もまた同じような団地に暮らした経験がある。狭い階段ながら、そこで行き交う人々とのふれあいが楽しかった。この子供たちもそれを象徴するかのように、笑顔でこちらを見ているのが印象的である。手前に置かれた物たちも画面上で効果的な役割となっている。〈大西みつぐ〉

古い団地のひび割れた階段を、あたかも彼らの基地であるかのように、身体化して遊んでいる子供たちのたくましささをさわやかに写し取っている。子供にとっては全てがリアルであり、生きている、ということを実感させられる。〈藤本壮介〉



優秀賞

フォトコンテスト 団地 × コミュニティ部門

ありがとう。 山口 美由貴 ひばりが丘（東京都）

子供の頃過ごした団地、家の目の前にあった赤い鉄棒。小さかったわたしにとってここはご近所さんとの大切な集いの場。もうすぐあなたはなくなってしまうけれど、わたしは忘れない。この思い出も、あなたのことも…

審査員からのコメント

ここに写し出された時間の厚みに圧倒される。鉄棒ももはや太古の遺跡のようであり、緑が覆いつくしている。そしてこの小さな遺跡が、一人の女性の、そして様々な人々の人生の記憶につながっていることが感動的だ。それらすべてが、一つの美しい画面の中に結実している。
〈 藤本壮介 〉



優秀賞

フォトコンテスト 団地 × コミュニティ部門

楽しいひととき 渡辺志げ子 千草台（千葉県）

保育所の子ども達が、“まるまる公園使わせて下さい”と、自治会事務所に必ずあいさつにきます。この日は、年長さんがお弁当も食べて、楽しい一時を過ごしていましたところを、私が写させていただきました。

審査員からのコメント

先人たちが、さまざまに工夫して作り上げた団地のスペースで、しかし子供たちは、ほんとうに自由にふるまっている。まるで新しい生き物のように、地べたにすわり、彼らの世界が始まることに気づかないまま、新しい世代の始まりを表明している。あざやかなピンクは新しい生命力だ。
〈 藤本壮介 〉



最優秀賞

フォトコンテスト 団地 × ランドスケープ部門

春の嵐の後で 黒坂 拓

新山下ベイシティ（神奈川県）

この日、テレビのニュースでは春の嵐の影響で交通機関がマヒしたニュースを盛んに報じていました。同じ頃、新山下周辺では雲の合間から太陽の光が射しこみ、嵐が収束に向かっていることを静かに伝えていました。幸い、山手見晴らし公園の桜はほとんど散ることが無く、その後も私たち住民の目を楽しませてくれました。

審査員からのコメント

春の嵐の後の桜のつぼみを思う気持ちが、雲の間からさしこむ、やわらかな光に輝らされた桜と一緒に、幽玄な世界として表現された美しい写真です。背景となる団地群との構図がとてもよいと思います。

〈 池邊このみ 〉



優秀賞
フォトコンテスト 団地 × ランドスケープ部門

忘れてはいけない事 北 貴幸

HAT神戸・灘の浜（兵庫県）

震災によってつくられた団地。忘れてはいけない思いを乗せて・・・

審査員からのコメント

現代の都市において、ビルのガラスに建物が映ることは珍しくなくなったが、震災を経験した人だからこそ見えてくる風景だと思う。メッセージ性の強いインパクトのある写真だと思う。〈なかだえり〉

優秀賞

フォトコンテスト 団地 × ランドスケープ部門

夕やけぐも 近藤 司

コンフォールさがみ南（神奈川県）

へやの中から外をみていたら夕やけぐもがきれいにそまっていたベランダに出てカメラのシャッターを「パチリ」。きれいにとれたのでおぼしてみました。

審査員からのコメント

ほとんどが空という写真だが、作者が子供であることと、まあい雲が、その下に建物、家族、緑までも想像させてくれる。ほのぼのあたたかい気持ちになる。〈なかだえり〉



優秀賞

フォトコンテスト 団地 × ランドスケープ部門

ハンティング・ハットの家 山岡 靖

大麻中町（北海道）

雪の朝、道路に出てみると一面の白い世界に赤いハンティングをかぶった家が並んでいた。おとぎ話に出てくるお菓子の家のように可愛いらしいその姿は世の中の色々な出来事を包んでしまうような幻想的な感じがした。美しい街なみ景観は、私の感覚を引き起こし、豊かな一日の始まりとなった。

審査員からのコメント

北海道らしい風景がメルヘンの世界として表現されたとても暖かい作品です。お菓子の家のように考えるだけで自分の一日が豊かになるとありますが、まさに見た人間もその中に入り込んだ気持ちにさせられます。〈池邊このみ〉





優秀賞

スケッチコンテスト

永い年月おつかれ様でした（桜より） 朝岡 満子 辻堂（神奈川県）

はからずも事業区域に選ばれてしまったこの棟。私は幸いに継続区域ですので助かりましたが、この夏メッシュをかぶっての生活になります。台風、大雨にも負けず、しっかり永い年月立ち続けてくれて本当にありがとうとお礼を言いたい気持ちです。後は何が出来るのか楽しみに、私も心臓病をかかえて少しでも永生きしたいです。

審査員からのコメント

画面の大半をしめる生き生きとした桜と、取りこわされゆく団地。生きつづけるものと、去り、生まれかわるものの対比と共存が、おだやかで味わい深いタッチで描かれていて感動的。切ないがしかし希望にあふれた一枚。〈 藤本壮介 〉



優秀賞

スケッチコンテスト

聖夜に・・・。 苅部 優子 仙台鶴ヶ谷五丁目（宮城県）

子供の笑い声、風呂からの匂い、窓から漏れる明かり・・・。団地にはそんな人の温かみがギュッと凝縮されているように私は思います。12月24日、イブの夜。街もお店もどこもかしこもキラキラして、幸せがあちこちに溢れているようなそんな特別な日。彼もクリスマスイブの夜に光る幸福な笑顔の1つになれますように・・・。

審査員からのコメント

メルヘンチックな作品であり、作者の体験なのか願望なのか、どちらにせよ夢がある。足跡、彼の左手にあるクリスマスプレゼント、自転車…。どれも細かなリアリティとともに聖夜のイメージを豊かに表現している。淡いタッチの画風も派手さはないが好感をもてるものがある。〈 藤本壮介 〉

特別賞

それぞれの作品が、私たちに教えてくれる想いは、

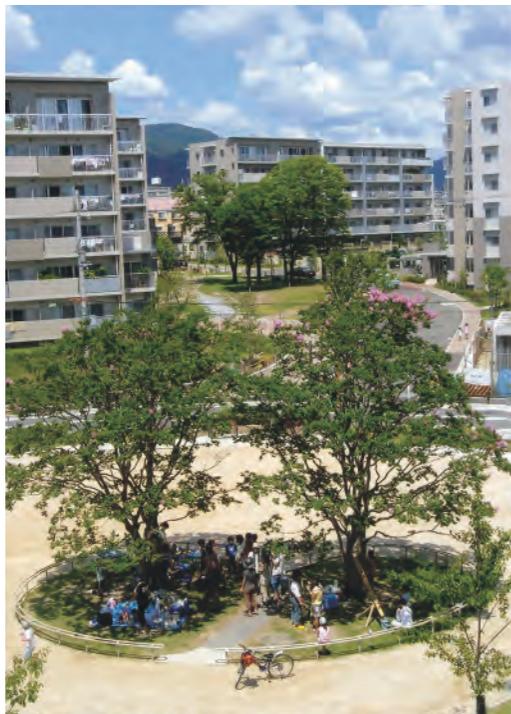
必ずしも、写真やスケッチのテクニックだけで伝えられるものではありません。

「全国団地景観サミット」は、団地を舞台とした暮らしの中の、パーソナルな感動を共有する場でもあるのです。

ここに紹介した作品はもちろん、すべての応募作品に、それぞれの感動がある。

だからこそ、一つひとつの作品にどう向き合うかが、問われるのかもしれません。

■ 審査員賞 ■ キッズ賞 ■ UR 賞 ■ メッセージ賞 ■ カレンダー賞 ■ 入選



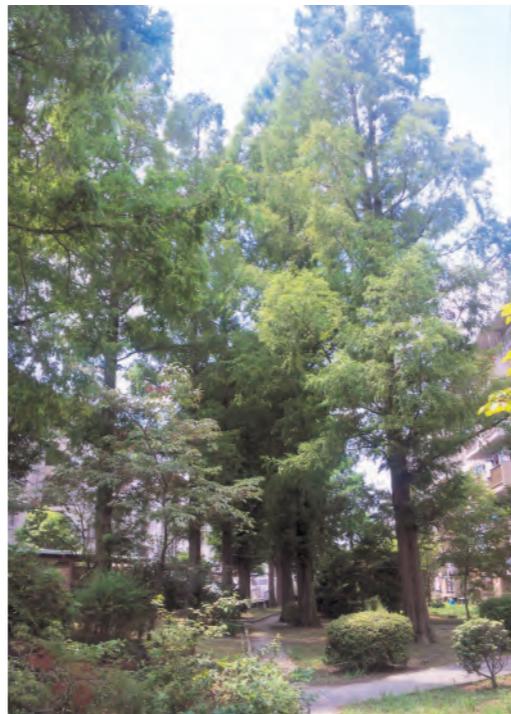
審査員賞

大きなみどりのパラソル 手島 広行
アルビス緑丘（大阪府）

団地中央の広場や棟間に保存されたみどり達は、伸びやかに大きく枝を張り、団地北側の高台に広がる自然豊かな五月山へと連なる大きな景観を造り出すとともに、真夏の暑い日差しを和らげる自然のパラソルとなり、その足元には人が集い楽しい笑い声が棟間に木霊する。

審査員からのコメント

写真の構図的に適切なフレーミングで撮られている。カメラポジションがよかったためだ。中央広場の二本の木が、これからさらに葉を付け、また樹を太くし、未来へと向かっていくことを想像させる。明るい陽光のもと豊かな環境とともにあるこの団地の美しい風景を余すことなく伝えている。〈大西みつぐ〉



審査員賞

並木道 柳生 信治
総持寺（大阪府）

秋には木の葉が色づき、冬には落葉した木々の間からやわらかい陽射しがそそぎ、そして夏、鮮やかな青葉で涼しげな木陰を与えてくれる癒しのある並木道。こんな風景も団地の魅力なのかも知れない。

審査員からのコメント

団地の中に人工的に作られた自然も、数十年の時がたつと、圧倒的な迫力の巨樹へと成長していく。その時間の重みがストレートに表現されていて感動的でした。この先の50年、100年を想像したくなる写真です。〈藤本壮介〉

審査員賞

昔よき時代 鈴木 弘久

金沢シーサイドタウン並木二丁目（神奈川県）

珍しく木登りする子がいる。自然とふれあう団地の中で、ふれあう子供たち、昔私たちもよく目の前の大きな木があれば上って、世間を見た物だ。

審査員からのコメント

木登りの好きな女の子3人。団地の特権のようなよい写真です。初夏の光につつまれた緑の中に、木に触れている子供達。木登りのできる時代に昔を思う、あたたかな作品です。〈池邊このみ〉



審査員賞

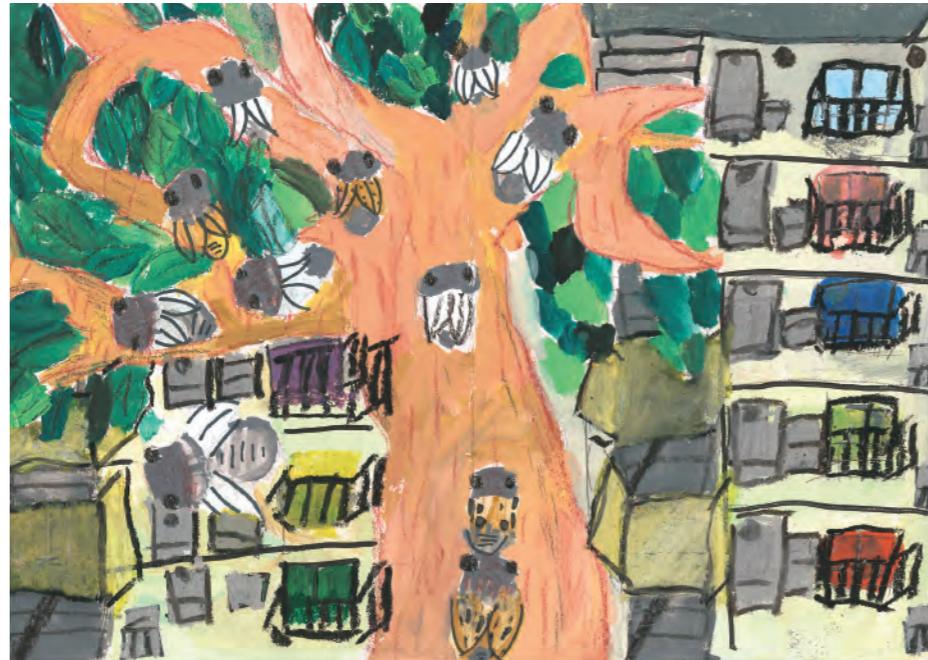
夕暮れの団地列車 青木 裕幸 百草（東京都）

それはまるで大きな列車のような団地でした。斜面という地形にあわせて建てられているからでしょうが、ゆるやかにカーブした駅のホームで出発を待っている列車のように見えました。そんな5階建て、5棟編成の列車のような団地は、今日も多くの人々の人生を乗せて素敵な生活へと動き出しそうです。

審査員からのコメント

のけぞって描かれた手前の建物が、勢いよく走る列車や機関車の先頭車両のよう。巨大な列車は、過去から未来へ導いてくれそうにも見える。〈なかだえり〉





キッズ賞 大賞

セミ団地 道田 茜 下大利（福岡県）

どこにでも負けないぐらいのセミの数。ふつうは、5～6ピキ。でもこの団地は10～20。はしからはしまでセミずくし。自まんのセミの木です。

審査員からのコメント

今年の暑い夏を思い出させるかのごとく画面いっぱいにセミがその存在感を見せているのが面白い。そしてそれらと同等に団地の各階が並んでいる。こうした環境にやさしく育まれて作者も大人になっていくのだろう。大胆な構図で元気な表現で、絵を見るこちらにも明るい気持ちになってくる。〈大西みつぐ〉

この想像力には打ちのめされた。画面の中の巨大なセミと小さな団地の共存。様々な生きものが暮らす団地の本質を、ユーモラスに、そして鮮やかに描き出した傑作。〈藤本壮介〉

子どもならではのダイレクトな感情がイキイキした作品。大人になるところは描けないな…と刺激をもらいました。〈なかだえり〉

どこにも負けないセミの数！団地から聞こえてくるうるさいほどのセミの鳴き声が思い出されます。リアルで大きなセミの姿と、各階異なる色にぬられた団地、とても素晴らしい作品です。〈池邊このみ〉

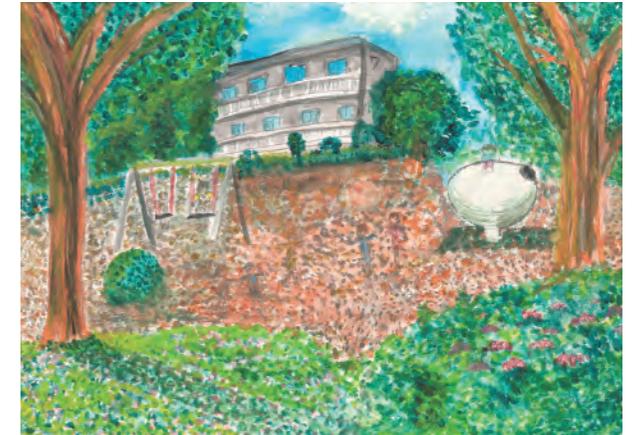


キッズ賞

あついなつのこうえん 太田 たくみ

逆瀬川（兵庫県）

だんちの中にある、こうえんにいきました。だれもいませんでした。あついなつなんて、きれいです。



キッズ賞

レンタマ公園 原尻 理沙

エステート江戸川台（千葉県）

この公園は、2008年10月23日にできました。私の誕生日と同じ日にできたので私は大のお気に入りです。この公園ができる前までは、すべり台とすな場しかありませんでした。その後、すべり台はなくなったけど、ブランコとたまごのようなものができました。レンコンみたいな穴があるので「レンタマ」とよんでいます。



キッズ賞

団地にそよぐ秋の風 宮腰 弥音

成城通りパークウエスト（東京都）

秋になると団地の木が、黄色にそまり、いちょうの木がとてもきれいです。団地では、子供たちが元気よくあそんでいて、団地であそぶのはやっぱり楽しいです。



UR 賞

団地の春 河野 實

洛西福西公園（京都府）

私の友達がこの洛西ニュータウンに住んでいますが、毎年行なわれる「ニュータウン桜まつり」を大変楽しみにしています。と言うのも、この桜まつりをきっかけに、団地の皆んなと大変親しくなったと言っていました。これでは、今話題の高齢者の不明者は、発生しないと思います。

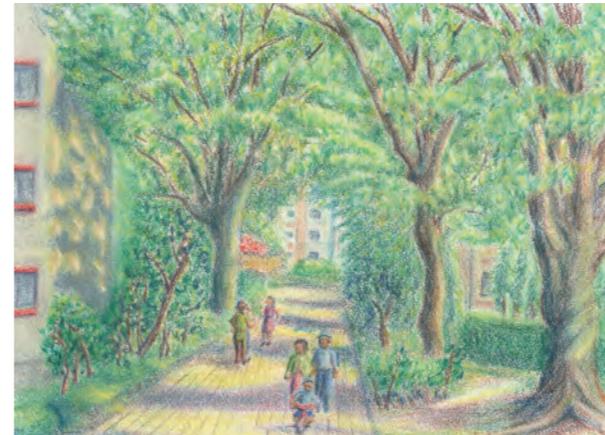


UR 賞

秋色のニュータウン 山岡 大志

多摩ニュータウン永山（東京都）

高い所に登って団地を見下してみると、秋色の世界が広がっていた。緑の大地の中に置かれた建物との対比が美しく思わずシャッターを切りました。僕にとって団地は一つの風景です。



UR 賞

緑燃える陽春の団地内遊歩道 大久保 三男

小平（東京都）

桜花散り、春たけなわの小平団地遊歩道、西日を浴びて樺の青葉、若葉と光陰が織りなす緑のトンネル、散策する住み人の心も和み、行き交う人々の話は弾む。老木の苔むした樹肌や節くれ立った根元は星霜の年輪を刻み、木漏れ日は棟壁に妙なる樹影を描く。のどかな陽春休日の団地内、三街区中央遊歩道、中程から南方を描く。



UR 賞

花のにぎわい 南雲 萌生

谷津パークタウン 壱番街・貳番街・参番街（千葉県）

毎年春になるとにぎわう谷津の町。団地の中にも、ほのかにバラの香りが漂います。もう、何十回と目にした光景ですが、バラ園もパークタウンも年々美しさを増しているように感じます。



UR 賞

夏の思い出

榎 知子 新金岡第一（大阪府）

梅雨明けとともに、クマゼミがいっせいに鳴きはじめました。さっそく、幼い兄妹が、アミを持ってやってきました。私も、真夏の太陽の下、真黒になって、蟬やとんぼを追いかけ、野山をかけまわっていた頃を思い出しました。



UR 賞

パパ、ママ、見て!!

山地 妙恵 谷津パークタウン（千葉県）

娘が生まれた年にできた公園です。小さな公園ですが、娘はこの公園が大好き。想像力を巡らして、毎日のように違う遊び方を考え出します。2歳になって、こんなこともできるようになりました。パパ、ママ、見て!! と叫んで、とても自慢げです。



UR 賞

ガンバレ! 神戸新長田

松尾 春一 新長田駅前（兵庫県）

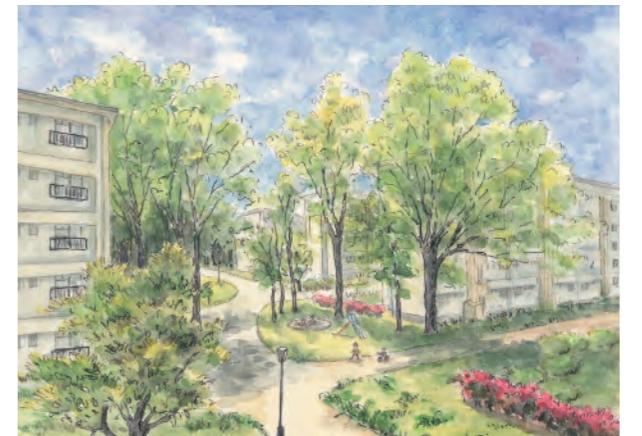
新長田地区は、震災の被害も大きく15年経った今でも、施設・建物等の復旧は終わっていないが、人出や売り上げ等は、震災以前の水準まで戻っていないとのこと。鉄人がエールを送っている姿に見立てました。



UR 賞

「めぐる日々」 佐々木 朋子 名谷公園前（兵庫県）

幼い頃、姉妹でかけまわった公園。結婚した姉は、慣れ親しんだ団地に新居を構え、今も大好きな公園を家族で駆けまわっている。



UR 賞

窓を開けると 飯島 寿美 国立富士見台（東京都）

第一団地中央ブロックの造園再整備工事によって住民の散歩や子供の遊びまわる姿が目立ち一段と美しく明るく楽しい団地になりました。

明日に向かって

いつも通り慣れた道。
歩き始めた息子が、一心不乱に坂道を
駆け上がっているのを見て、
「この子の未来には、
何が待っているのだろう…」と思いました。
子供達には、明るい未来が待っているでしょう。



メッセージ賞
齋藤 純子 パークタウン若宮（埼玉県）

猫団地

猫は日当たりの良い心地よい
場所に集まります。
そんな猫が集まる場所は
人にとっても居心地が良く、
猫の多い団地はきっと
素敵な場所なのだと思います。



メッセージ賞
瀬賀 未久 百草（東京都）

夏の日

団地の眼下に広がる公園。
ソフトボールにサッカー、子ども達の元気な声が
途絶えることはありません。
その成長を何十年の間見守り続けてきた母なる団地。
これからも夢いっぱいの子供達を見守っていてほしい。
そして緑豊かな恵まれた環境に感謝です。



メッセージ賞
岩永 ケイ子 西諫早（長崎県）

ここで、大きく育つ

一戸建てに育ってきた私が結婚を機に団地生活。
男の子が生まれた時、実家と違って大きな鯉のぼりを
あげてあげることができないことが
とても残念な気がしました。でも子どもは
そんなことを気にすることなく元気に育っています。
日々過ごす環境の温かさを感じながら、
鯉のぼりを団地の公園であげました。大きく大きく育って!



メッセージ賞
阿部 恵司 光が丘パークタウンゆりの木通り北 (東京都)

夕暮れに包まれる団地

夕暮れに包まれていく団地に、
徐々に家族が帰宅しあかりがともしり団欒が聞こえてくる。
帰りたくなる団地がそこに有る。



メッセージ賞
櫻井 健 シティハイツ日野旭が丘 (東京都)

お〜と

UR 住宅へホームラン予告だ。

町内野球の時、
UR 住宅方向に、
ホームラン予告した姿を絵にしてみました。



メッセージ賞
高木 政史 晴海アイランドトリトンスクエア
アーバンタワー (東京都)

家族写真

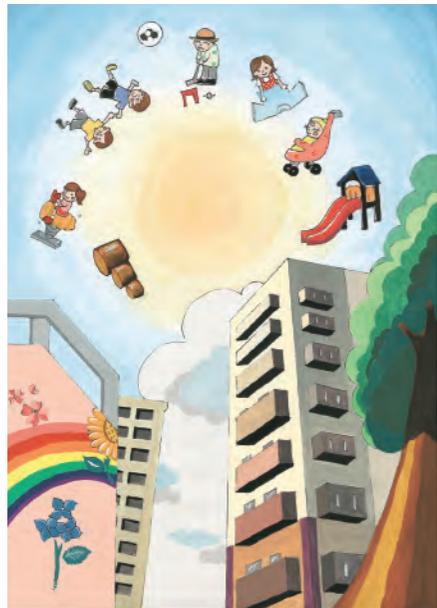
夫と息子と私、3人でピクニックをし、
帰り道に夫が撮影した1枚です。
息子と私の後ろから暖かい目で見守ってくれている
夫の姿が見えるようです。
写真に夫は写っていませんが、
夫の姿を感じることができる「家族写真」です。



メッセージ賞
池谷 真美 ハートアイランド新田一番街 (東京都)

安心・安らぎ・楽しい広がる 小さなまち

見上げてごらん。この団地は世代幅広く、安心して暮らせる自慢の団地だよ。
(写真では表現できない、豊かさ、のどか、住み心地の良さを、お腹のベビーと一緒に優しいタッチで描いてみました。)



メッセージ賞
村瀬 由香理 アーバンラフレ稲沢（愛知県）

大好きな道程（みちのり）

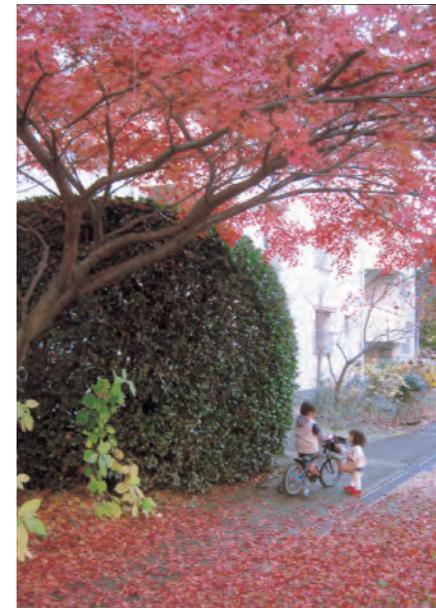
妻と私とこの緑道が大好きで
城山台二丁団地に住むのを決めました。
この、家を出てから公園に向かうまでの道程は、
子どもも1歳を過ぎた頃から覚えていて、
家族3人が大好きな道程です!!



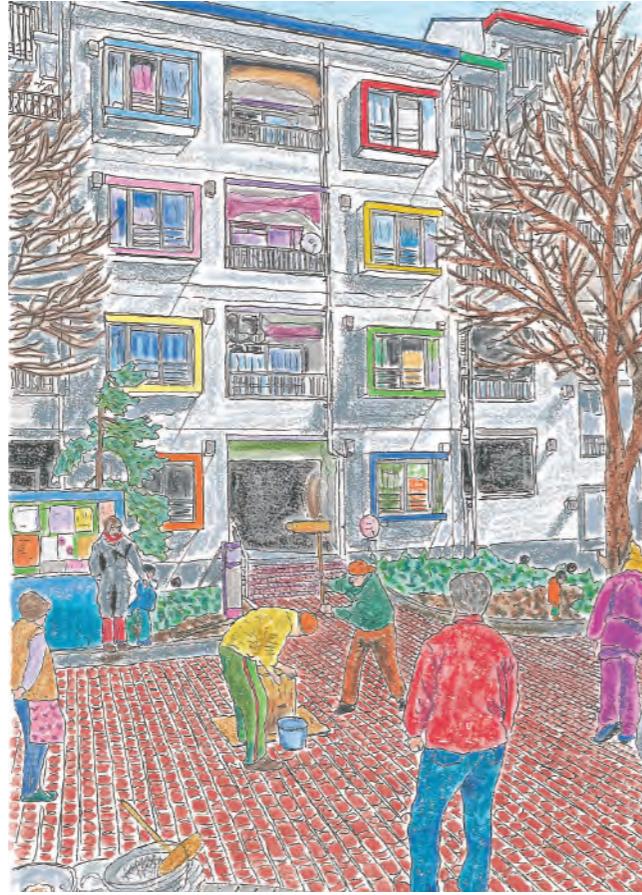
メッセージ賞
木下 雄太 泉北城山台二丁（大阪府）

自然の招き屋根の下で

私の住まいの階段前には、立派に成長した紅葉があります。
その枝は歩道を覆う屋根のように広がっています。
まるで人を迎え入れてくれるような存在感があり、愛着を感じています。
葉の散る頃には赤い絨毯を敷き詰めたような歩道となり、少しウキウキします。
おかげで、子供達は緑に包まれ、自然に親しむ生活を送っています。



メッセージ賞
亀田 無限 常盤平（千葉県）



カレンダー賞 表紙
餅つき
石崎 幸治
多摩ニュータウンファインヒルいなぎリベレ向陽台（東京都）



カレンダー賞 1月
初めての雪あそび
阿部 有希 むつみ台（東京都）



カレンダー賞 2月
団地に雪が
澁谷 哲男 富田（大阪府）



カレンダー賞 3月
写生の少女
原田 恵一
リバーシティ21イーストタワーズ・イーストタワーズII（東京都）



カレンダー賞 4月
記念撮影
大嶽 正幸 プロムナード矢部（神奈川県）



UR賞 同時受賞作品

カレンダー賞 5月
花のにぎわい
南雲 萌生
谷津パークタウン 吉番街・弐番街・参番街 (千葉県)



カレンダー賞 6月
額紫陽花の昼と夜
安田 庶 グリーンヒルズ東久留米 (東京都)



カレンダー賞 9月
かかし祭りの頃
小林 眞 えびな (神奈川県)



カレンダー賞 10月
運動会
島田 秀樹 神代 (東京都)



メッセージ賞 同時受賞作品

カレンダー賞 7月
夏の日
岩永 ケイ子 西諫早 (長崎県)



カレンダー賞 8月
暮れなずむお台場
真次 弘 シーリアお台場一番街 (東京都)



カレンダー賞 11月
彩りのある住まい
多和 裕二 豊島五丁目 (東京都)



入選作品

カレンダー賞 12月
冬近し笹川団地
立林 敏明 笹川 (三重県)



入選
銀杏落葉
石田 郁雄 志徳（福岡県）



入選
ぽっかり四角い夜
甲木 美弥子 ぶららてんま（大阪府）



入選
「花火鑑賞」
中山 利典 ヴェルディール市川南（千葉県）



入選
防災訓練
前田 正憲 武蔵ヶ丘（熊本県）



入選
冬近し笹川団地
立林 敏明 笹川（三重県）



入選
水鏡
本橋 省吾 サンヴァリエ桜堤（東京都）



入選
緑のトンネル・早朝
広沢 武 湖北台（千葉県）



入選
リズムにのって
平野 昌子
金沢シーサイドタウン並木一丁目第一（神奈川県）



入選
海から見える住まい
平山 信子
アーベイン姪の浜マリナスステージ（福岡県）

全国団地景観サミット2010 審査の現場から



地域や自然との共生、世代を超えた見守りの関係、豊かなコミュニティ…。UR賃貸住宅には、そこに住まう人の笑顔が息づいています。

感動を、写真やスケッチ、さらにはそこに添えられたメッセージに託して応募された作品は、そのどれもが生き生きとした生活や季節感に溢れる風景を、応募者それぞれの感性で写し取ったものなのかもしれません。そんな作品を、そのクオリティだけでなく、タイトルや添えられたメッセージに込められた応募者の

想いまで総合的に評価し、審査する「団地景観フォト&スケッチコンテスト」。フォトコンテストから「団地×コミュニティ」「団地×ランドスケープ」の2部門、そしてスケッチコンテストの受賞作品を、審査員の皆さんはどのように評価されたのか。審査後に行われた講評座談会から、それぞれの作品の魅力を探ります。

情感あふれる風物詩であり、そこがふるさとであるという、明確なメッセージ。

フォトコンテスト大賞 「ふるさと」



[ふるさと]

大西みつぐ
大賞作品の「ふるさと」は、団地のお祭りの縁日の明かりをメインにして撮っていますが、暗くて見えないところもあるんですけど、むしろ目で見た印象をそのまま写真にして好感が持てました。

池邊このみ
夏祭りをテーマにした作品のなかでは少し地味なのですが、子供たちが楽しんでいて、それを暖かく見守る大人たちの顔がある。それに対して「ふるさと」という名前を付けていることに、大賞たる価値が

あるんじゃないでしょうか。

大西みつぐ

情感あふれる夏の夜の風物詩、団地の風物詩として楽しめるとともに、そこがふるさとであるという作者の明確なメッセージを伝えている作品ですね。



藤本 壮介氏

なかだえり

実は、最初に見た時に昭和の写真かなと思うほど、現代とは違うなと感じたんです。地域のコミュニティが希薄になっているなかで、みんなが集まる場所がある、それが、団地のなかで脈々と続いている。おもしろいな、いいことだなと感じました。

藤本壮介

大勢がいる全体の雰囲気と、顔が見える

部分の親密さみたいなものの両方がうまく写り込んでいると思います。昭和というお話がありましたけど、懐かしい感じでもあるし、リアルでもある。それをドラマチックに映し出していて、まさに大賞にふさわしいんじゃないでしょうか。

古い団地を、大正モダンのように描いていて、日本の風景ではないような新鮮さがある。

スケッチコンテスト大賞 「初夏の昼下り」



[初夏の昼下り]

大西みつぐ

「初夏の昼下り」は、作者を中心とした時間軸が大河ドラマのように読み取れて、色彩も含めて印象に残る作品だったと思います。一枚の絵の中に自分が登場するなど、新しい視点で団地の営みを絵にしていますよね。

池邊このみ

古い団地の持つ「らしさ」を、光の陰影が表していて、古いけれど、そこに明るさが漂っている。団地らしい生活風景や娘さんとのリアリティのある関係にも、団地が育んできた歴史が感じられます。



なかだえり

若者のような、はつらつとした感じもありますよね。日常を描きながら、作者が自分なりに世代をつないでいる様子が、すごくいいなと思います。

藤本壮介

日本の風景ではないような、新鮮さがありますね。大正モダンのように描いていて…。登場人物も少し日本人離れた印象で、それがポジティブな明るさになっている。そのポジティブさのなかで世代が受け継がれ

ているというのは、すごくいいなと思います。



大西みつぐ氏

なかだえり

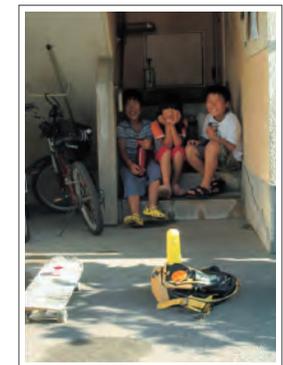
おだやかだけど明るい空気感があって、絵の技術としても非常にこなれているように思います。いつも楽しくスケッチをしている、ふだんの様子がにじみ出るような作品ですね。



フォトコンテスト

「団地×コミュニティ」部門

コミュニティの原点としての団地
その空間性が支える。明るく自然な笑顔。



[団地の子供たち]

藤本壮介

受賞作品のなかでは、「団地の子供たち」が好きです。いかにも自分たちの場所だという感じで隙間に挟まって遊んでる。子供のたくましさが見えてすごくいいなと思います。「楽しいひととき」もそうなんですけど、子供たちが団地という不思議な空間に、新しい命を吹き込んでいるような気がします。

審査員プロフィール



藤本 壮介氏
建築家
Sosuke Fujimoto
Architect
撮影 David Vintiner

1971年北海道生まれ。東京大学工学部建築学科卒業後、2000年に藤本壮介建築設計事務所を設立。2005年を皮切りに若手建築家の国際的な登竜門であるAR Awardを3年連続で受賞し、特に2006年度は最優秀賞を受賞するなど一躍注目を浴びた。また、2008年には同賞の審査委員を務めた。2008年、JIA日本建築大賞とWorld Architectural Festival—個人住宅部門最優秀賞を受賞し、Architecture Record 誌「Design Vanguard」に選出される。2009年には wallpaper* 誌の Design Awards 2009を受賞。東京大学特任准教授、慶応義塾大学・東京理科大学非常勤講師。



大西 みつぐ氏
写真家
Mitsugu Oonishi
Photographer

1952年東京都深川生まれ。東京総合写真専門学校卒業。1985年「河口の町」で第22回太陽賞、1993年「遠い夏」ほかにより第18回木村伊兵衛写真賞受賞。1970年代から東京の下町を拠点として撮影活動続けるほか、大学や専門学校などで若い世代を指導、また各カメラ雑誌において記事執筆、月例コンテスト審査員を歴任するなど写真愛好家へのアドバイスも積極的に行っている。日本写真家協会会員。東京総合写真専門学校、武蔵野美術大学非常勤講師。



[楽しいひととき]

大西みつぐ
階段って、コミュニティの原点みたいな場所で、そこで子供たちが笑顔をかかっている。自然な笑顔をこちらに向けていて、それがメッセージとして伝わるんですね。



[ありがとう。]

藤本壮介
「ありがとう。」という、ちょっとノスタルジックな写真ですが、時間が積み重ねられて

いるということの驚きが美しい写真になっていて、これも好きな写真ですね。時間の蓄積という点では、「並木道」にも驚きました。団地の植栽が日光の杉並木みたいになっている。時間の蓄積がダイレクトに表現されていて不思議な写真です。



池邊 このみ氏

池邊このみ
植栽を撮影した作品では、「昔よき時代」も気に入りまして。最近の子供たちは、木に触れることも少ないと思うんですけど、この子供たちは親しみをもち木に触れている。作者はそこによき時代を見ているんだと思いますが、木に登ることができて、それを危なくないようにみんなが見守っている。そういう団地の良さが伝わってくる写真だと思います。

フォトコンテスト
「団地×ランドスケープ」部門

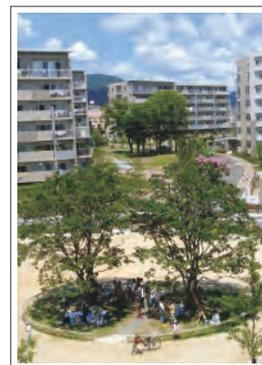
巨大だけれど、そこには生活がある。独特な風景をつくりだす団地という不思議な集合体。

大西みつぐ
「大きなみどりのパラソル」という写真は、ちょっと俯瞰したところからパースペクティブを縦位置で切り取っていくという写真の定型的な仕事になされていて、そのなかに、そこに映っている木が大きく育て多くの人を集めるだろうという希望が見えてくる。明るい写真だなと思いました。



[昔よき時代]

池邊このみ
「大きなみどりのパラソル」が撮影された団地「アルビス緑丘」は、なるべく五月山が見えるように建物を建てようという五



[大きなみどりのパラソル]

月山条例がある地域に建てられていますから、この団地も五月山の景観に配慮してつくられたのだと思います。「春の嵐の後で」は、早春の桜ですよね。雲間からの光が桜の幽玄な世界とマッチして、左側に団地があって緑が広がる構図も美しい。「ハンティング・ハットの家」は、建物の建て方やまっすぐな道路など、北海道の地域性をイメージさせるような写真ですね。うっすらと積もった雪が何もかも美しく見せている。屋根が赤い帽子のように見えて、メルヘンチックなイメージで…。



[春の嵐の後で]

藤本壮介
僕は北海道の出身なんですが、僕の知ってる北海道よりも北海道らしい。「春の嵐の後で」もそうなんですが、団地って、不思議な集合体ですよね。巨大だけれど、そこには生活があってそれが独特な風景をつくりだしていますよね。



なかだ えり氏

スケッチコンテスト

若い人の団地に対しての想い。新鮮さ、空間の美しさが、伝わってくる。



[永い年月おつかれ様でした(桜より)]

藤本壮介
スケッチコンテストでは、「永い年月おつかれ様でした(桜より)」という作品が気に入っているんです。生命力に溢れていて、何とも大胆な作品ですよね。お話としてはちょっと寂しい感じなんですけど…。

なかだ えり氏
「夕暮れの団地列車」も印象に残ります。建物や風景を何かにたとえられるのも、団地だからこそなのかなという気がします。



なかだ えり氏
イラストレーター
Eri Nakada
Illustrator

1974年岩手県生まれ。日本大学生産工学部建築工学科卒、法政大学工学部建築学科修士課程修了。東京・千住にておよそ200年前に建てられたといわれる「蔵」をアトリエとし、フリーランスでイラスト、執筆、建築設計など多分野で活動中。2008～2010年春まで読売新聞首都圏版夕刊に毎週連載されていたイラストコラムをまとめ、単行本「東京さんぽるぽ」(集英社)が2010年3月刊行。



池邊 このみ氏
ランドスケープ
プランナー
Konomi Ikebe
Landscape planner

1957年東京都新宿生まれ。(株)ニッセイ基礎研究所上席主任研究員
千葉大学博士課程修了、学術博士。
2010年3月まで3カ年、UR都市再生機構、都市デザインチームリーダー(兼務)を務める。
千葉県景観審議会副委員長他、港区、板橋区、町田市などで景観審議会委員等。

池邊このみ

長大な住棟が迫ってくる感じを、列車という印象で捉えているのがおもしろいですね。今回応募された皆さんは、比較的若い方が多くて、「聖夜に…」もそうですけど、若い人が、団地に対して新鮮な空間の美しさを感じていることが分かるような作品が多かったように思います。



[聖夜に…]

大西みつぐ

「聖夜に…」は、ロミオとジュリエットのように男の子と女の子がベランダ越しに向かい合って、プレゼントを持っている。物語性が非常に濃厚で、誰もが分かりやすいイメージを構成しています。雪、クリスマスと、何となく切なくなってくるイメージなんですけど、明るくさらっと、いまの若い人の思いを伝えているような気がします。

キッズ作品

近づきたい、手で触りたい。そんな子供たちの感覚に今まで見えていなかったものが隠されている。



[セミ団地]

池邊このみ

大賞作品の「セミ団地」は、ありえないくらいセミがとまっている木のリアルさと、団地の各階が違う色という子供の目で見えた印象が共存している。子供らしい想像力ですね。「レンタマ公園」もそうですけど、子供たちって、よく見えていますよね。公園にできた新しい遊具にレンコンのような穴があいているから、レンタマって名前をつけましたって…。こちらも、すごく楽しい作品だと思います。

なかだえり

「夕やけぐも」は、団地は少ししか写ってい

なくて、ほとんどが空の写真なんですけど、雲のほんわかした丸さが、その下に緑の木々があったり、幸せな家族がいるんじゃないかと、見えない部分まで想像させてくれて…。想像力をかき立てられる写真だと思いました。

藤本壮介

大賞の「セミ団地」や入選した作品以外にも、子供の目線で団地の風景とか団地で起こっていることを捉えた作品はいっぱいあるはずですから、ご両親も、「これ出しているのかしら」とは考えずにどんどん応募していただくと、本当に違った視点が見えてきますよね。

大西みつぐ

そのものに近づきたい、手で触りたいという感覚で、難しいセオリーを無視して、対象に向かっていく。そこに僕らに見えていなかったものが隠されている気がします。

審査を終えて

記憶を継承することが、全国団地景観サミットの意義。作品から見出されるさまざまな団地の表情。

大西みつぐ

最初に感じたのは、どの写真もしっかりと撮っているなということなんです。じっくり一枚ずつ見ていくと、そこからいろいろなものが見えてくる。見れば見るほどよく見えてくる作品が多かったという印象があります。



藤本壮介

当たり前といえば当たり前なのかもしれませんが、団地にはちゃんとした生活の場がとられていて、それが時間を経て熟成して行って、また新しい子供たちが入ってきて…。そういうことが繰り返されている事を目の当たりにできて、非常におもしろかったですね。

なかだえり

刺激的でした。この審査は。



大西みつぐ

絵や写真とメッセージが一体になっていて、決して映像だけではないし、言葉だけでもない。だから、メッセージの深い想いに気付くと、写真をよく見るようになってしまう。写真を見ながら、語りかけてくるものを吸収していかなければならない。そういう意味では、慎重に審

査せざるを得なかったですね。

池邊このみ

応募作品を見てみると、団地ならではの多面的な人との関係性というのが、すごく現れてきますよね。このサミットで、団地の多面的な価値をより多くの方に伝えていただきたいなと思います。



なかだえり

人が映っていない作品も、メッセージと併せて読むと、ちゃんとコミュニティがあって、生き生きとした人々の生活があるんだな、というのが伝わってきたので…。プラス思考になる体験でした。



大西みつぐ

審査しながら、ものをつくっていく人たちの原点を僕らが共有していく。たぶんそれは、この絵や写真を見てくださった方が、絵を描くのは楽しいじゃないか、シャッターを押すのは楽しいじゃないかという想いにつながると同時に、それが、自分たちの感動を見直し、これからの暮らしを支えていくための下地になっていくんじゃないかなと思います。だから、このサミットも、継続すると意義深い。記憶から記録へじゃないですけど、本当にいいものが残っていくんだと思います。

平成 22 年 10 月 8 日 実施

全国団地景観サミット2010

UR賃貸住宅「団地景観フォト&スケッチコンテスト」の概要

● 開催にあたって

全国団地景観サミットにおける「団地景観フォト&スケッチコンテスト」は、UR賃貸住宅のある全国の団地について、団地に関心をお持ちの皆様にご魅力を表現していただき、それをより多くの方々にお伝えすることを目的として開催し、今年で3年目を迎えました。2010年は、「人のふれあい」「彩りのある風景」をテーマに、フォトコンテストとして「団地×コミュニティ」、「団地×ランドスケープ」の2部門、そしてスケッチコンテストの、計3部門で作品募集をいたしました。コンテスト応募作品は、全国に1700以上あるUR賃貸住宅団地を題材とした写真又はスケッチとし、皆様の団地景観に対する想いを、タイトルとメッセージで表現していただきました。

● 審査結果

合計で484名の皆様から、686作品のご応募をいただきました。

この中から、1次審査、有識者審査の厳正なる審査のうえ60点の入賞作品を選出いたしました。入賞作品の内訳は、大賞2点、最優秀賞2点、優秀賞7点、審査員賞4点、キッズ賞4点、UR賞9点、メッセージ賞10点、カレンダー賞13点、入選9点です。審査評価においては、写真やスケッチのクオリティだけでなく、作品のタイトル及びメッセージについても評価対象とし、総合的に評価させていただきました。

● スケジュール

2010年 4月9日 全国団地景観サミット2010開催発表
6月16日～8月16日 作品応募受付期間
8月24日～10月8日 応募作品の審査を実施
11月11日 審査結果発表

最後に、本コンテストの実施につきまして、ご協力いただいた皆様及び応募者の皆様に、深くお礼申し上げます。

発行 独立行政法人都市再生機構 技術・コスト管理室 設計計画・都市デザインチーム

〒231-8315 横浜市中区本町6-50-1 横浜アイランドタワー8階 TEL:045-650-0815

企画 独立行政法人都市再生機構 技術・コスト管理室 設計計画・都市デザインチーム 宮本俊次 水井淳 三浦友美

製作 株式会社URリンケージ 都市・居住本部 企画設計部